

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート

No.3-4

PDCA

主要事業名

広報推進事業

部課名

企画部企画課

担当倉野

内線226

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：5－1－1 単位施策：情報共有

全体事業期間：令和3年度～3年度 全体事業費等：20,802 千円

会計一般会計 歳出科目：02.01.02.02.02

3か年実施計画（当該年度事業費等）：－ 千円

事業概要等

事業概要：はんだ市報や市ホームページなどの様々な広報媒体を通じて、市政に関する必要な情報を提供する。

事業目的：様々な広報媒体を通じて市政に関する必要な情報を提供し、その理解と協力を得る。

事業内容：はんだ市報、声の市報、報道機関との連絡調整、半田市ホームページ管理・運営、議会番組制作・放映

問題点・課題等：提供する情報の内容により、適した広報媒体の選択が必要である。令和3年5月号からはんだ市報の月1回発行を円滑に行うこと。

予算額

20,802 千円

財源内訳

市費19,189 千円

国費0 千円

県費0 千円

その他1,613 千円

主要事業とする理由

市政に関する必要な情報を提供し、その理解と協力を得ることは、市政運営にとって重要であるため。

得られる成果

市民と市の情報が共有され、市民の市政に対する理解・協力が得られる。

目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
提供した情報の新聞掲載数	実績値	251	336	－	件
	目標値	365	330	330	件
ホームページのアクセス数（月間平均）	実績値	101,530	140,483	－	件
	目標値	50,000	80,000	80,000	件
はんだ市報の満足度（広報に関するアンケート中の「非常に満足」または「おおむね満足」の割合）	実績値	94	94	－	%
	目標値	90	90	90	%

D

値得られた成果と実績

決算額

11,669 千円

得られた成果

市民と市の情報が共有され、市民の市政に対する理解・協力が得られた。

成果指標		令和3年度	単位
提供した情報の新聞掲載数	実績値	252	件
	目標値	330	件
ホームページのアクセス数（月間平均）	実績値	153,879	件
	目標値	80,000	件
はんだ市報の満足度（広報に関するアンケート中の「非常に満足」または「おおむね満足」の割合）	実績値	94	%
	目標値	90	%

C

課題の整理

事業の評価・課題

C

ホームページは、関心度の高かった新型コロナウイルス感染者情報やワクチン接種に関する情報、地域振興券に関する情報を適正に更新したことがアクセス数の増加に繋がった。また、市報の記事に対して関連したQRコードを添付し、ホームページに誘導したことも増加の要因となった。

市報の満足度について、市民が読んで分かりやすい内容に編集したことやプレゼント企画など市民参加型の内容を盛り込んだ結果、満足度は目標値を達成した。

A

課題の解決に向けた

今後の事業の方向性

改善推進

ホームページについては、引き続き、市民にわかりやすい内容で適正に更新するとともに、市報や市公式ラインなどからホームページに誘導することによりアクセス数の増加に努める。

市報は、半田市が取り組んでいる事業やまちのトピックスなどを市報を活用して積極的に発信していくとともに、引き続き、読者に興味を持ってもらえる特集やユーモアある編集後記を作成することで、多くの人に読んでもらえる親しみのある市報を目指す。

観点別評価

必要性	有効性	効率性
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧削減余地 ※対象・手段の変更
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地